

式 辞

今年の桜は、まるで自らに意思があるかのように開花時期をコントロールし、56名の一年生を最高のコンディションで迎えてくれました。その春を代表する桜に見守られ、本日ここに、令和6年度 福島市立庭坂小学校入学式を挙行できますことは、大きな喜びです。

お忙しい中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、誠にありがとうございます。

保護者の皆様、只今、56名の一年生の入学を許可いたしました。保護者の皆様におかれましては、お子様の入学を目の当たりにされ、感激の思いひとしおであろうと拝察いたします。

お子様のご入学、誠におめでとうございます。

次に、56名の一年生の皆さん、にゅうがくおめでとう。

皆さんは、今日から、庭坂小学校273名の仲間入りです。

そこで、今日、校長先生は、皆さんの心に、三つの種をまきます。

目には見えないけれど、世界に一つしかない花を咲かせる、とっても大事な種です。

一つ目は、「進んで勉強する子ども」になる種です。

たくさん本を読んで、進んで勉強する子になってください。

二つ目は、「思いやりのある子ども」になる種です。

恥ずかしがらずにあいさつができて、友だちにはいじわるなどしない、やさしい子になってください。

三つ目は、「明るく健康な子ども」になる種です。

たくさん運動して、少しの事ではへこたれない強い子になってください。

あ、一つ言うのを忘れました。いくら種をまいても、花は種をまくだけでは咲きません。ほかに何が必要かな？

そう、水です。毎日、みんなの心に水もあげてください。水といっても、本当の水ではありませんよ。

(あんまりいっぱい水を飲むと、おなかタポタポになっちゃうからね。)

少し難しい話をしますよ。

今、校長先生がみんなの心にまいた種の水というのは、元気に学校に来て、みんなといっしょに仲良く生活するということです。それがさっきまいた種の水です。

三つの種に毎日少しずつ水をあげて、六年間大事に育てて、学校の歌にも出てくるしゃくなげや梨の花にも負けない、みなさん一人ひとりの世界に一つだけの花をさかせてください。どんな大きさの、どんな色をした、どんないい香りのする花が咲くのか、楽しみにしています。

最上級生である6年生の皆さんは、一年生をはじめ、下級生のよいお手本となれるよう、自分の中にあるリーダーシップを発揮して、庭坂小学校をどンドンリードしてください。

そして、全校生273名と先生方のみんなで力を合わせて、素晴らしい庭坂小学校をつくっていきましょう。

結びになりますが、私ども教職員一同、お子様の持つ可能性を信じ、そして、それを確実に大きく拓かせるために、全力を尽くすことをお誓いし、式辞といたします。